

1月は雪がちらつく日もありましたが、子どもたちは寒さに負けず元気いっぱい園庭やテラスで遊び、凧揚げも楽しみました。持ち手のあるビニール袋に子どもたちがシールを貼って作った凧を持って、走ったりくるくると回ったりして身体を動かしていました。また、袋の持ち手に腕を通してお買い物ごっこをする可愛らしい姿も見られ、それぞれ思い思いに楽しんでいました。

室内では、雪に触れる機会がありました。バケツに入った雪に興味津々で手が冷たくなるまで触って遊び、園で初めての経験に緊張しながらも保育者や友だちと一緒に雪の感触や冷たさを味わう姿が見られました。

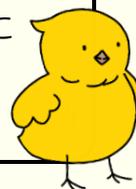
2月は、新聞紙を丸めて豆に見立てて豆まきを楽しんだり、冬の自然の中、散歩先で色々な発見をしたりして、あり組のみんなで楽しく過ごしていきたいと思います。



絵本が大好きなあり組の子どもたち。『パンダのあかちゃんおとっと』という絵本を読むと、いつも絵本に合わせて手を広げながら「おとっと〜」と真似をしています。みんなで左右に揺れる姿がとても可愛らしく、笑顔が溢れる素敵なひとときです。

雪が降る寒い日もありましたが、子どもたちの心はいつもドキドキワクワク、凧揚げや追いかっこをして元気に園庭を走ったり、太陽の暖かい日差しを感じながら砂場や東屋で遊んだり、寒さに負けず戸外遊びを楽しんでいます。また生活面においては、靴や帽子の着脱や片付けなど自分でやってみようとする姿も増えています。一人ひとりの思いを大切に、見守ったり、一緒にする中で方法を伝えたりして‘自分でできた喜び’をたくさん味わえるようにしていきたいと思います。

コマ回しやカルタ遊びなどのお正月遊びを楽しんだ先月に引き続き、今月も今の季節ならではの遊びを大切に、氷遊びや雪遊びなど、冬の自然に触れて楽しんでいけたらと思います。また節分では、模造紙にローラーで色を塗り、楽しんだものを鬼に見立てて、新聞紙を丸めた豆で豆まきを楽しみたいと思います。



大学の森に散歩に行った時のことです。落ち葉の上に嬉しそうに座り、足が見えなくなるくらい落ち葉を集めていくAちゃん。「もっともっと!」としているうちに、落ち葉はAちゃんのお腹辺りまでいっぱいになりました。すると、Aちゃんが一言。「あったかいねー」自然を肌で感じ、楽しそうな姿が印象的な瞬間でした。

戸外で遊ぶことが大好きなりす組の子どもたちは、紙皿を絵の具で塗って作った凧で凧揚げをして、身体をたくさん動かして遊びました。室内でも保育者や友だちと一緒にカルタやコマ回しなど、正月ならではの遊びを楽しんでいました。制作では大きな模造紙にローラーを使って色を塗りました。「ここ、まだ白い!」「ここも!」と手や足に絵の具をつけながら思う存分楽しんでいました。塗ったものは鬼に変身して、保育室に登場します。子どもたちが新聞紙を丸めて作った豆で豆まきを楽しもうと思います。また、先月から通園かばんとコップを持ってくるようになり、友だちや保育者に見せて嬉しそうにしています。

今月も大学の森に散歩に行っって色々な発見をしたり、冬ならではの氷や雪などの自然に触れたり、また、幼児園庭で友だちや保育者と一緒に鬼ごっこや、むっくりくまさんなどを楽しみたいと思います。



通園かばんを持って登園するようになり、嬉しそうな子どもたちの様子が見られています。「かばんはこうやって持つんだよ!」「コップはここにいれるんだよ」など、得意気に話す姿に、大きくなることへの喜びが感じられます。うさぎ組への進級をみんなで見守りに待ちたいと思います。